

令和5年度 西城小 学校努力点

学ぶ楽しさ、できる喜びを感じることができる児童の育成
～ 協働的に学ぶ「ピア・ラーニング」に重点を置いて～

たけのこ・つくし学級のめあて

- ボールを置く、転がすなどの目的に合った体の使い方を考えることができる。
- 体を動かす楽しさを感じることができる。
- 授業の見通しをもち行動することができる。

子どもたちの

できるようになった！

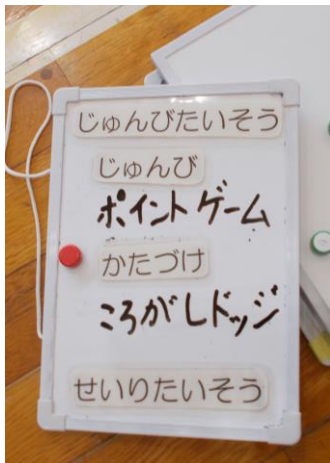
もっとやりたい

を引き出す体育科の授業

- ・ 「予定ボード」で授業の見通しをもち、自分たちで次の行動をとれるようにする。
- ・ 作戦ボードを使い、ピア(同じ目的を持つ仲間)で作戦を考えられるようにする。

授業の様子

① 「予定ボード」で授業の流れを確認する。



手を上げた方から回るよ。

② 準備体操



僕が、最初にくぐるよ。



うまくできた。
もう一回やりたい。



どのように体を動かせば、手をつないだままうまく回れるかを考えながら体をほぐしていきました。

③ ポイントゲーム

〈「ポイントゲーム」の準備をしている様子〉



2チームに分かれて、「ポイントゲーム」（マーカーにボールを置いていく活動）をしました。

〈「作戦ボード」でピア・ラーニングする様子〉

近いところは僕が行くよ。

走る順番はこれでいいかな？



〈「ポイントゲーム」をしている様子〉



④ 転がしドッジボール

ボールを転がすときのポイントをみんなで確認しました。

手をまっすぐ伸ばすとよかったね。



ボールの転がし方や、よけ方を工夫しながら転がしドッジボールをしました。

取り組みを終えて

- 「予定ボード」で授業の流れを確認することで、次の活動の準備など、見通しをもって行動することができました。
- 「作戦ボード」でピア・ラーニングすることで、ボールを置くときの体の使い方や役割を考えることができました。